

松本大学研究ブランディング事業の外部評価活動

8月30日、7名の外部評価委員を本学に迎え、平成30年度第1回外部評価委員会を開催しました。本学からは学長、副学長、研究科長、各学部長、大学事務局長、総務課長、管理課長に加え、総合経営学部、人間健康学部、教育学部を代表する学生3名が参画。点検・評価の内容は次の通りです。

1. 第2次中期目標・計画
2. 平成29年度事業報告
3. 平成30年度事業計画
4. 3ポリシー（DP・CP・AP）とアセスメント・ポリシー
5. 松本大学研究ブランディング事業の取組

平成29年度から取り組んでいる「松本大学研究ブランディング事業」については、①平成30年5月24日、一般企業・諸団体の関係者を対象に、「企業従業員に対する健康づくりの必要性と具体的な提案」をテーマとし、本学でキックオフ・シンポジウムを開催したこと、②同シンポジウムで実施したアンケート結果から「健康経営」に対する関心の高さが窺えること、③企業と連携した「健康経営」に対する具体的な取組の状況等を説明しました。

外部評価委員からは、次のような意見や提言がありました。

- ①松本市としても、健康経営の定着化により、健康に意識の高い市民の育成することを将来のまちづくりの礎としたいと考えていますので、期待しています。
- ②松本大学のブランディング事業は、企業の社員に対する健康維持・管理の取組の視点から見て、現代社会のニーズをよく捉えています。今後、事業化できるよう対応すべきだと思います。
- ③松本大学のブランディング事業は、全世界的なテーマと言えます。特にアジア諸国においては大きな課題です。今後、専門性の高い研究を推進し、将来的には国際学会の開催レベルを目指して欲しいと思います。

なお、今後の事業展開の点検・評価の効率化を図るため、外部評価委員会の中に「松本大学研究ブランディング事業評価部会」を新たに設置することが承認されました。

